

岩国市が国に要望した

米軍再編にかかわる安全・安心対策は 市民にとって安全安心か？

福田岩国市長は10月31日、防衛省、外務省に対して、米軍再編にかかわる安全安心対策として 治安 騒音 環境 地元の意向を尊重する制度の構築 協議の継続の5項目、43点の要望を行い回答を求めました。岩国市はこれへの回答を持って空母艦載機の岩国移転容認へさらに大きく一歩進めるものと見られます。

要望書とは別に「自衛隊の岩国残留を求める要望書」ならびに山口県に対して県警と米憲兵隊の合同警ら警察官の増員配置を求めています。

愛宕山跡地への米軍住宅建設については踏み込まず

愛宕山跡地への米軍住宅建設については直接触れず「空母艦載機部隊の移駐に伴う米軍家族住宅の場所決定に当たっては、岩国市に事前に説明し、理解を得ること」とされ、岩国市だけでなく「地元住民を含めるべきだ」という共産党市議団の意見について、岩国市の中に住民も含まれるとして無視しました。

愛宕山跡地に“米軍住宅をつくるな”の声は岩国市民の多数の意見です。艦載機容認の市議会議員でも、K議員、H議員は議場で「賛成するものはおらん」と発言しています。なのに、要望書には反対は書き込みませんでした。

早朝・夜間の飛行禁止をせめて他基地並みに

現行「11時を10時に」も書き込まれず

11月3日全員協議会で日本共産党市議団は、時間を要望書に書きこむべきだと主張しました。福田市長は答弁で「はたして10時でよいのか、8時・9時もある」などと強弁し時間は書き込みませんでした。

地位協定改定・FCLP（NLP）禁止

防音区域拡大は要望しているものの？？……

43点にわたって要望していますが、これが福田市長の「安全・安心ポーズ」にならないようにしなければなりません。国はまったく信用できません。庁舎建設補助金だけでなく、KC-130移転受け入れ時に要望した「昭和町・藤生線」の基地内5ヘクタールの用地返還も。「国が用地の買い取りやペリ・スクールの移転費用を岩国市に求めている」ため基地内道路の建設のめどは立っていません。

「残ったのは艦載機と米軍住宅だけ」とならないよう頑張りましょう。

国への要望項目・要望点の概要

項目	要望内容
治安対策	<p>警察・憲兵隊の警ら。 街路灯。防犯カメラ設置。街頭緊急通報システム。 規律の保持。教育。 基地外居住者の届出制度。 公務外の事件事故への補償措置。 日米地位協定の見直し。</p>
騒音対策	<p>消音装置。防音林。緩衝緑地帯の増設・整備。 エンジンテストは消音装置を使用。 早朝・夜間、土、日、祝日、盆、正月は飛行、エンジンテストの全面禁止。 市街地、工場上空飛行禁止。 他基地への訓練移転、KC-130のグアム・鹿屋基地への展開の機数、期間の明示。 航空機騒音や苦情を国に対応を求める。 基地周辺の騒音測定。 データをリアルタイムで公開する。自動測定装置の増設。ホームページの開設。 住宅防音を70W値に下げる。区域指定を見直すこと。 空母艦載機の離発着訓練（FCLP）及び事前集中訓練を実施しないこと。</p>
環境対策	<p>クロゴケグモの完全駆除。 廃水処理。 合同演習の実施で基地外に影響を及ぼさないように。 演習、訓練内容を事前通報し、住民からの苦情や問い合わせに対応すること。</p>
地元の意向を尊重する制度の構築	<p>基地の管理運営について岩国市の意向を踏まえて日米で協議・交渉すること。 国と岩国市の定期協議の場設置</p>
その他	<p>基地の機能変更は早期の情報提供と岩国市の理解を得る。 岩国基地港湾施設への入港は安全を確保する。 空母艦載機部隊の米軍家族住宅の場所決定に当たっては岩国市に事前に説明し理解を得る。</p>